

5 たばこ

喫煙は、肺がんをはじめ、心臓病、脳血管疾患、呼吸器疾患などの発症に深く関与していることが明らかになっているほか、妊娠では、流・早産などの危険因子となり、胎児にも悪影響を及ぼします。

また、喫煙は、たばこを吸う人ばかりでなく、周囲の人々の健康にも影響を及ぼし、受動喫煙によって肺がんを発症するリスクは20%増加するといわれています。

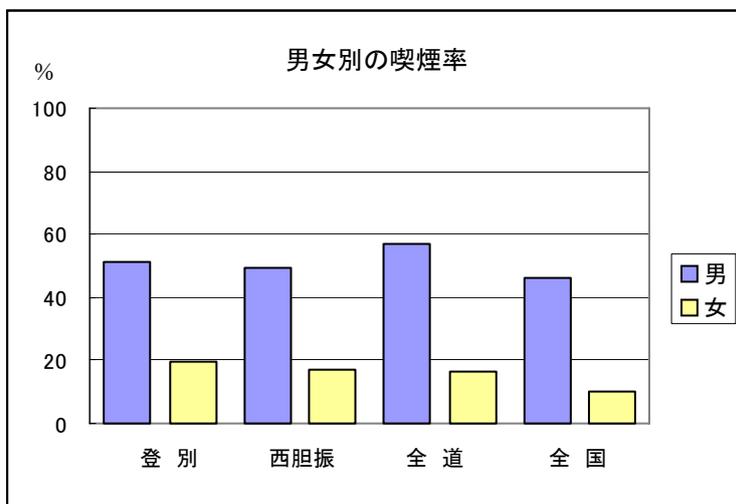
自分自身の健康のためはもとより、たばこを吸わない人のためにも、禁煙への取り組みを推進していく必要があります。

○登別市の現状（市民アンケート調査より）

1. 喫煙率

成人の喫煙率は、男性51.1%、女性19.8%であり、男性は全国（45.9%）、西胆振（49.4%）平均より高く、全道（57.0%）平均より低くなっています。また、女性は全国（9.9%）、全道（16.3%）、西胆振（16.9%）平均より高くなっています。

このことから、登別市では女性の喫煙者が多い実態がうかがえます。

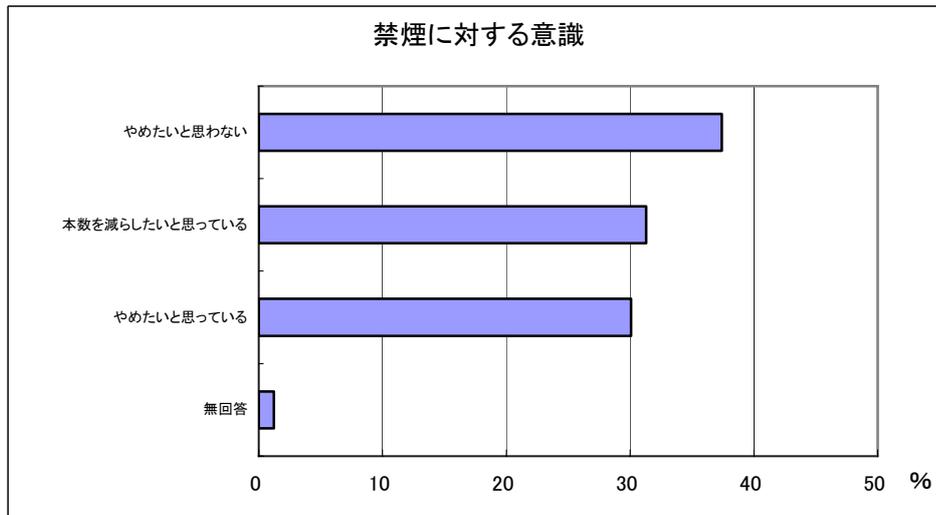
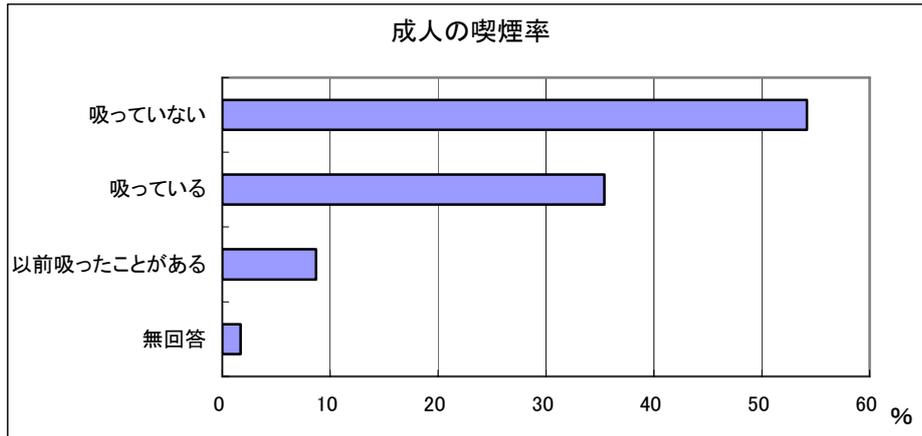


2. 喫煙の状況及び意識

成人の「喫煙者」は35.4%で、そのうち30.1%がたばこをやめたいと思っています。

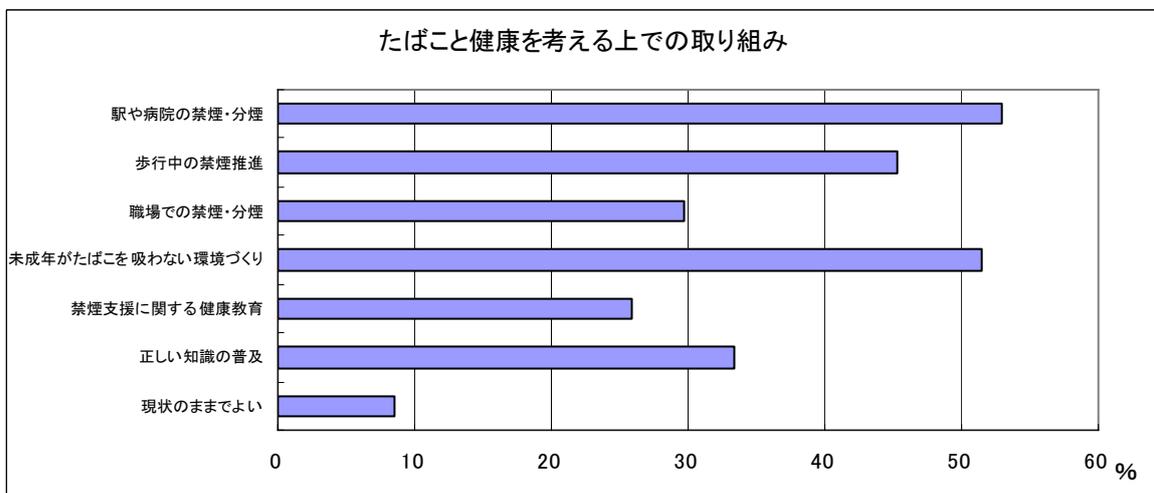
また、本数を減らしたいと思っている人を含めると禁煙・節煙を希望する人は61.4%になります。

このことから、自分の健康や家族の健康を気遣い禁煙や節煙をしている実態がうかがえます。



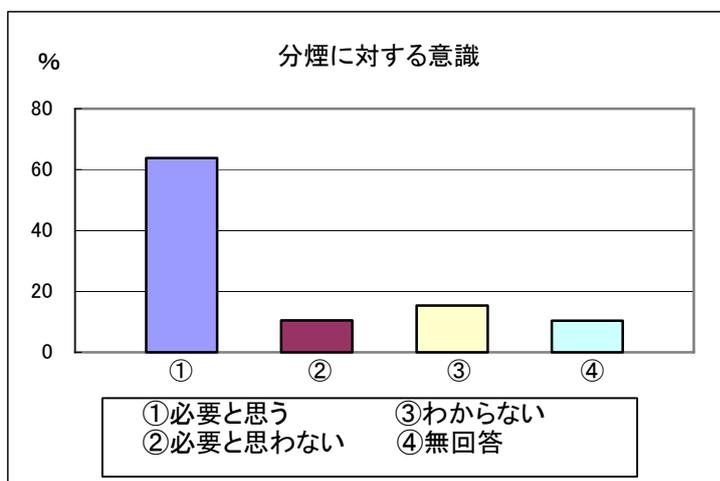
3. たばこと健康を考える上での取り組み

効果的な取り組みとしては、「駅や病院の禁煙・分煙」が 52.9%で最も多く次いで、「未成年者がたばこを吸わない環境づくり」が 51.4%、「歩行中の禁煙推進」が 45.3%、「正しい知識の普及」が 33.4%となっています。



4. 分煙に対する意識

男性で 67.7%、女性で 59.9%、全体で 63.8%の人が分煙の必要性を認識しています。このことから、受動喫煙の害をなくすために分煙の徹底、喫煙者の節度ある喫煙など環境づくりが求められています。



健康課題

☆成人の喫煙率は、全国、全道に比べ女性の喫煙率が高く、また、若年層の喫煙が急増していることから、たばこの健康被害を理解し禁煙に取り組むことが必要です。

☆6割以上の方が分煙の必要性を認識しており、受動喫煙の害をなくすために分煙の徹底、喫煙者の節度ある喫煙など環境づくりが必要です。

目標

☆周りの人の健康を考えて、「分煙」を実行し、喫煙マナーを守ろう。

☆喫煙の及ぼす影響を理解し、禁煙や節煙に努めよう。

指 標	現 状	市の目安	道の目安	国の目安
成人の喫煙率	男性 51.1% 女性 19.8%	男性 40.9% 女性 15.8%	男性、女性共 全国平均以下	—
分煙の必要性 の認識	63.8%	76.6%	—	—
公共施設の 禁煙・分煙	100%	現状維持	—	—

*市の目安は、現状数値にプラスマイナス 20%を乗じて設定しました。

目標達成に向けての取り組み

◇市民の健康づくりへの心がけ

- ・喫煙の健康に及ぼす影響を理解し、禁煙や本数を減らすよう心がける。
- ・家庭、学校、地域において未成年者への禁煙を指導する。
- ・喫煙者は周囲の人に配慮し、決められた場所以外では喫煙しないなど喫煙マナーを守るよう心がける。
- ・家庭内での受動喫煙の危険性について理解し禁煙、分煙に心がける。

◇市民の健康づくりを支援する取り組み

- ・不特定多数の人が集まる公共施設での禁煙、分煙を徹底する。
- ・広報誌などで禁煙、分煙の促進や情報の提供をする。
- ・家庭や学校と連携をして、たばこの害についての健康教育及び禁煙指導を実施する。
- ・受動喫煙防止の観点から非喫煙者に対する保護対策を行う。

